

歩行者が安全で安心して通行できる基盤整備

課題と成果

整備の事例

群馬県の現状

群馬県内の歩道設置率は県管理道では全国平均を上回るものの、市町村道路を含めた歩道整備率は8.1%であり、全国的にも低い水準です。
また、人口千人あたりの歩行者事故件数は、全国平均を上回る状況にあるため、県民は歩道整備を重要な施策と考えています。

県民の声

群馬県が実施した県民アンケートによると、「歩道整備は重要度が高い」と考えているにもかかわらず、満足度が低いという結果です。

これは、重要性の高い歩道整備の現状に不満をもっている県民が多く、県内全体の歩道整備が急務な状況にあることが伺えます。



出典：上毛新聞(H20.3.18)
歩道整備に関する記事

課題

歩行者が安全で安心して通行できる歩行空間の整備を推進する必要があります。

目的

全国的に見ても歩道の整備が遅れている群馬県において、歩行者が安全で安心して通行するための道路整備並びに道路周辺環境の整備・道路の安全性を向上させる関連事業を実施することにより、誰もが安全で安心して暮らせる地域づくりに寄与します。

事業の指標

指標1 安全で安心な通行ができる歩道が設置された道路延長

Σ(歩道が設置されている県道の道路延長) (単位:km)

指標2 歩道整備により歩行の安全性が向上した小中学校数

Σ(歩道整備(歩道設置、段差解消など)により、歩行の安全性が向上した小中学校数) (単位:校)

成果と達成度報告

歩道が設置されている道路が**61km伸びました!**

通学路の安全性が向上した小中学校が**121校増えました!**

指標1: 歩道が設置されている県道の延長

	目標	実績	増減
当初値(H21当初)		1,113.1km	
中間値(H22末)	1,127.3km	1,132.6km	当初値より19.5km増加
目標値(H24末)	1,151.5km	1,174.3km	当初値より61.2km増加

指標2: 歩行の安全性が向上した小中学校数

	目標	実績	増減
当初値(H21当初)			
中間値(H22末)	103校	85校	85校の歩行安全性が向上
目標値(H24末)	120校	121校	121校の歩行安全性が向上

整備効果事例

事例① 市道00-104号線 自転車歩行者道整備

■位置図



箇所名：
前橋市宮地町
～前橋市房丸町

■整備効果

整備前



自転車歩行者道が整備されておらず危険

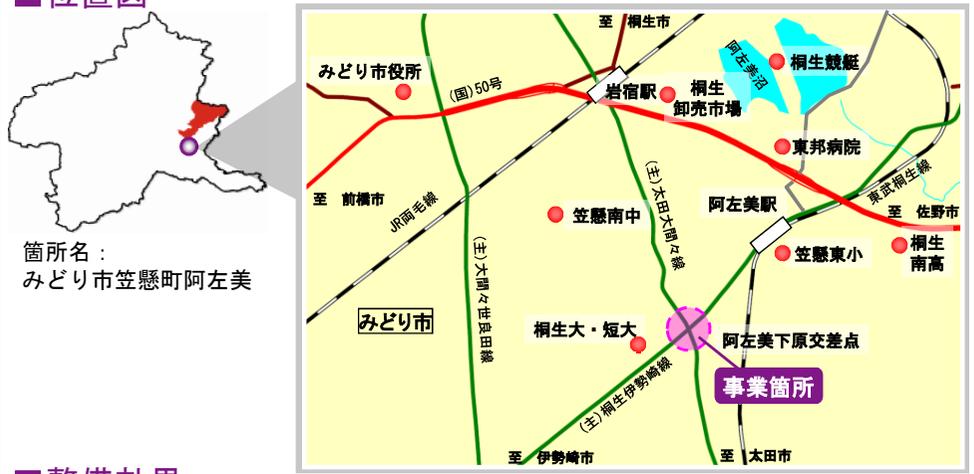
整備後



自転車や歩行者の通行が安全になった

事例② 主要地方道 桐生伊勢崎線 歩道整備

■位置図



箇所名：
みどり市笠懸町阿左美

■整備効果

整備前



歩道が整備されておらず危険

整備後



歩行者の通行が安全になった